

令和3年第6回東大和市議会総務委員会記録

令和3年11月5日（金曜日）

出席委員（7名）

委員長	和地仁美君	副委員長	中間建二君
委員	大后治雄君	委員	森田真一君
委員	蜂須賀千雅君	委員	佐竹康彦君
委員	床鍋義博君		

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

議会事務局職員（5名）

事務局長	鈴木尚君	事務局次長	並木俊則君
議事係長	吉岡繁樹君	主任	関口百合子君
主任	高石健太君		

出席説明員（なし）

会議に付した案件

（1）所管事務調査

行政のデジタル化について

午前 9時30分 開議

○委員長（和地仁美君） ただいまから令和3年第6回東大和市議会総務委員会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染防止のため、3密を避け、広い空間を取る必要がございますことから、本日もこの全員協議会室において御協議いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（和地仁美君） 所管事務調査、行政のデジタル化について、本件を議題に供します。

前回の委員会において本件を所管事務調査に決定いたしましたので、本日は、今後具体的にどのような形で調査を進めていくか、御協議をいただきたく存じます。

事前に所管事務調査の進め方についての正副委員長案を送付させていただきましたが、改めて私のほうから説明をさせていただきます。

皆様のお手元にあると思いますけど、A4横のものなのですが、最初に前提として、主に来年度のものですけれども、新型コロナウイルス感染症が一定程度落ち着いていることを前提に、今回の計画は作成しておりますので、状況によっては柔軟に変更していく必要があるかなというふうに思っております。

上のほうから簡単に説明させていただきますが、今度の定例会、12月の定例会中の委員会の中では、まず東大和市の情報化推進計画の内容について、市が今どのように考えて進めているのかというところをまず最初に確認をする機会を設けたいと思います。

第四次東大和市情報化推進計画、皆様のお手元にあるかとは思いますが、念のため皆様のお手元に準備しましたので、そちらを使いながら、担当部局に内容を説明していただいて、また聞きたいことがあれば、皆様のほうから質問していただければなと思っております。

それを受けて、1月に先進市の視察（渋谷区）を企画しました。こちらの渋谷区のほうは、新聞報道などでも、誰も来ない庁舎を目指すということでかなり話題になっておりまして、特にこの副区长兼CIO——チーフ・インフォメーション・オフィサーの澤田副区长のほうが非常に精力的に取り組んでることで注目をされている自治体ですので、これが全部が正解というふうには思いませんけれども、一定程度の共通のものを持って、それについて議論を重ねたほうが、何も無いところからぼんやりして進めるよりは目鼻が付きやすいのかなと思っておりますので、こちらを最初に視察に伺おうかというふうに計画しました。

ただし、今現在渋谷区は、コロナの関係で行政視察を受け入れてません。コロナ以前はやはりこのデジタル化の行政視察をかなりの数、受け入れられていたようですので、その対応については問題ないと思いますが、状況が状況ですので、このときに許されればぜひ皆さんで視察に伺いたいと思います。

この視察を受けて共通認識を持った上で、3月の定例会の委員会の中では、12月に説明を受けた東大和市の計画と、ちょっと先んじてやってらっしゃる渋谷区とのこのギャップというか違いについて、どういう点が東大和市は改善が必要か、もしくは目指す方向を微修正したほうがいいのかとか、そのような皆さんの気づきも出てくると思いますので、そのことについて3月の定例会ではまとめていきたいと思っております。

4月は新年度ですので、始まりですので、いろいろと活動することは難しいと思われましたので、5月には、総務省のデジタル化の進んでる市町村の上位自治体っていうのがランキング出てますので、その中の近隣市のどこかしら、複数比較検討するという形で、先方が受け入れていただければ、ここのリストの中の何市かを、何自治体かを視察に行ければなというふうに思っております。

6月は……、これちょっと違うか。すみません、6月、間違ってますね。6月は先進市の視察に関する意見

交換で、この（渋谷区）は取ってください。複数見た前提で、6月の定例会のときに、先進市幾つかの中でどういう感想を持ったのか、もしくは東大和市で取り入れられることは何なのかなどについての意見交換をさせていただきたいと思っております。

そして7月には、行けるか難しいかもしれませんが、宿泊を伴う先進市への視察という形で、主にこの所管事務調査に関連した自治体を見ればと思っておりますが、せっかくの機会ですので、総務委員会に関連するような内容のものが近隣であった場合には、それも絡めて視察の計画などしてもいいのかなというふうに思っております。

その後、視察の取りまとめをし、そして東大和市の状況確認。これについては、来年度は次の推進計画が始まっていますので、そこについての意見交換や提言などを取りまとめて、最終的な報告になればというふうに思っておりますので、よろしく願います。

以上、簡単ですが、説明とさせていただきます。

今の正副委員長案についての説明に対し、またそのほか何か関連することで御意見等ございましたら、御発言をお願いいたします。

○委員（佐竹康彦君） 正副委員長におきましては、所管事務調査に関しまして、このように細かい、また目配りの届いた計画案を立てていただきまして、ありがとうございます。

委員長の御説明あった形で、まず当市の状況を把握し、共通認識を、議論のベースを持った上で様々な自治体の視察を行い、私どもの当市にとってどのような形がいいのかというのを議論を深めていければなというふうに思いますので、この計画案どおりにお進めいただければというふうに思っております。よろしく願います。

○委員長（和地仁美君） ほかにございますか。

○委員（森田真一君） 要望なんですけども、もう頭の中にあることだと思うんですけど、来年7月が参議院選挙の時期に重なるんで、宿泊を伴う視察ってことだと、ちょっと時期的な御配慮をいただければということで、ひとつお願いしたいと思えます。

それから、視察の内容なんですけど、行政視察も本当に大事で、いつも参考になることばかりなんですけども、私、こういう内容のものだと、できたらなんですけど、公式のものにするかどうかは別としても、各種の業界の展示会みたいなのなんかあるんじゃないかと思うんですね。ちょっと具体的に私、見てるわけじゃないんですけども、何かそういう具体的なものを見れる機会みたいなのがあったら、任意での参加でいいんだと思うんですけど、一緒に見に行ったりとかいうのがあったらいいなというふうに思っているんです。というのは、実際に自分たちでZoomを使った会議なんかやってみても、話は一応してるつもりなんですけど、実はあまりよく伝わってない、後ろでノイズが乗ってみたいなのが間々あって、なかなかうまくいかないなんてことを体験するもんですから、もしそういったことを技術的に、具体的に解消できるようなものだとか、いろんな工夫なんかを見る機会があれば、情報提供だけでもしていただければありがたいなというふうに思っております。

○委員長（和地仁美君） ほかにございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（和地仁美君） よろしいでしょうか。

そうしましたら、この正副委員長案を中心に、またコロナの対応などによって逐次変更などを加えながら、

充実した所管事務調査になるように皆さんで進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、所管事務調査の進め方につきましては、ただいま御協議いただきましたとおり進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（和地仁美君） これをもって令和3年第6回東大和市議会総務委員会を散会いたします。

午前 9時38分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 和 地 仁 美